

使用上の注意改訂のお知らせ

日本薬局方 リファンピシンカプセル リファジン®カプセル150mg

処方箋医薬品：注意—医師等の処方箋により使用すること

2022年11月
第一三共株式会社

このたび、標記製品の「使用上の注意」の一部を改訂いたしましたので、ご連絡申し上げます。
つきましては、今後のご使用に際しご参照いただくとともに、副作用等の治療上好ましくない有害事象をご経験の際には、弊社MRに速やかにご連絡いただきますようお願い申し上げます。

1. 改訂の概要 ≪自主改訂≫

「2. 禁忌」及び「10.1 併用禁忌（併用しないこと）」の項に「カボテグラビル」、「カボテグラビルナトリウム」、及び「ニルマトレルビル・リトナビル」を追記しました。また、「リルピピリン塩酸塩・テノホビル ジソプロキシシルフマル酸塩・エムトリシタビン」、「ダクラタスビル塩酸塩」、及び「アスナプレビル」を削除しました。

2. 改訂内容〔（ ）自主改訂、（ ）削除〕

改訂後	改訂前
<p>2. 禁忌(次の患者には投与しないこと)</p> <p>2.1 現行通り</p> <p>2.2 ルラシドン塩酸塩、タダラフィル(アドシルカ)、マシテンタン、ペマフィブラート、チカグレロル、ロルラチニブ、ポリコナゾール、ホスアンブレナビルカルシウム水和物、アタザナビル硫酸塩、リルピピリン塩酸塩、リルピピリン塩酸塩・テノホビル アラフェナミドフマル酸塩・エムトリシタビン、ドルテグラビルナトリウム・リルピピリン塩酸塩、エルビテグラビル・コピシスタット・エムトリシタビン・テノホビル ジソプロキシシルフマル酸塩、エルビテグラビル・コピシスタット・エムトリシタビン・テノホビル アラフェナミドフマル酸塩、ドラビリン、カボテグラビル、カボテグラビルナトリウム、ソホスブビル、レジパスビル アセトン付加物、ソホスブビル、ソホスブビル・ベルパタスビル、グレカプレビル水和物・ピブレンタスビル、テノホビル アラフェナミドフマル酸塩、ピクテグラビルナトリウム・エムトリシタビン・テノホビル アラフェナミドフマル酸塩、エルバスビル、グラゾプレビル水和物、アメナメビル、ニルマトレルビル・リトナビル、アルテメテル・ルメファントリン又はプラジカンテルを投与中の患者 [10.1 参照]</p> <p>2.3 現行通り</p>	<p>2. 禁忌(次の患者には投与しないこと)</p> <p>2.1 (略)</p> <p>2.2 ルラシドン塩酸塩、タダラフィル(アドシルカ)、マシテンタン、ペマフィブラート、チカグレロル、ロルラチニブ、ポリコナゾール、ホスアンブレナビルカルシウム水和物、アタザナビル硫酸塩、リルピピリン塩酸塩、リルピピリン塩酸塩・テノホビル ジソプロキシシルフマル酸塩・エムトリシタビン、リルピピリン塩酸塩・テノホビル アラフェナミドフマル酸塩・エムトリシタビン、ドルテグラビルナトリウム・リルピピリン塩酸塩、エルビテグラビル・コピシスタット・エムトリシタビン・テノホビル ジソプロキシシルフマル酸塩、エルビテグラビル・コピシスタット・エムトリシタビン・テノホビル アラフェナミドフマル酸塩、ドラビリン、ダクラタスビル塩酸塩、アスナプレビル、ソホスブビル、レジパスビル アセトン付加物、ソホスブビル、ソホスブビル・ベルパタスビル、グレカプレビル水和物・ピブレンタスビル、テノホビル アラフェナミドフマル酸塩、ピクテグラビルナトリウム・エムトリシタビン・テノホビル アラフェナミドフマル酸塩、エルバスビル、グラゾプレビル水和物、アメナメビル、アルテメテル・ルメファントリン又はプラジカンテルを投与中の患者 [10.1 参照]</p> <p>2.3 (略)</p>

改訂後				改訂前			
10.1 併用禁忌 (併用しないこと)				10.1 併用禁忌 (併用しないこと)			
薬効分類	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	薬効分類	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
抗ウイルス剤	HIV 感染症治療薬 現行通り	現行通り	現行通り	抗ウイルス剤	HIV 感染症治療薬 (略)	(略)	(略)
	リルピビリン塩酸塩 エジュラント [2.2 参照]		現行通り		リルピビリン塩酸塩 エジュラント リルピビリン塩酸塩・ テノホビル ジソプロ キシシフマル酸塩・ エムトリシタピン コムプレラ [2.2 参照]		(略)
	ドラビリン ピフェルトロ [2.2 参照]	現行通り	現行通り		ドラビリン ピフェルトロ [2.2 参照]	(略)	(略)
	カボテグラビル カボテグラビルナト リウム ボカプリア [2.2 参照]	カボテグラビルの 作用が減弱する おそれがある。	本剤の UGT1A1 誘導 作用により、カボテ グラビルの代謝を促 進し、血中濃度を低 下させると考えられて いる。		ダクラタスビル塩 酸塩 ダクルインザ [2.2 参照]	ダクラタスビル塩 酸塩の作用が 減弱するおそれ がある。	本剤の肝薬物代謝 酵素 (CYP3A4) 誘導 作用により、ダクラ タスビル塩酸塩の代謝 を促進し、血中濃度 を低下させると考えら れている。
	アメナメビル アメナリーフ [2.2 参照]	現行通り	現行通り		アスナプレビル スンベブラ [2.2 参照]	アスナプレビル の作用が減弱 するおそれがある。	本剤の肝薬物代謝 酵素 (CYP3A4) 誘導 作用により、アスナ プレビルの代謝を促進し、 血中濃度を低下させ ると考えられている。
	ニルマトレルビル・リ トナビル パキロビッド [2.2 参照]	ニルマトレルビル 及びリトナビルの 作用の減弱や 耐性出現のお それがある。	本剤の CYP3A 誘導 作用により、ニルマ トレルビル及びリトナ ビルの代謝を促進し、 血中濃度を低下させ ると考えられている。		アメナメビル アメナリーフ [2.2 参照]	(略)	(略)

改訂部分抜粋

3. 改訂理由

《自主改訂》

「カボテグラビル」、「カボテグラビルナトリウム」、及び「ニルマトレルビル・リトナビル」の電子添文の「2.禁忌」及び「10.1併用禁忌 (併用しないこと)」に本剤との相互作用が記載されたため追記しました。

また、「リルピビリン塩酸塩・テノホビル ジソプロキシシフマル酸塩・エムトリシタピン」、「ダクラタスビル塩酸塩」、及び「アスナプレビル」は、既に販売中止されているため削除しました。

☆本剤の最新の電子添文については、PMDAホームページ「医薬品に関する情報」(<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html>) 及び弊社ホームページ (<https://www.medicalcommunity.jp>) に掲載しておりますので、ご参照いただきますようお願い申し上げます。また、専用アプリ「添文ナビ」よりGS1バーコードを読み取ることで、最新の電子添文等をご参照いただけます。

リファジンカプセル



(01)14987081105325



Daiichi-Sankyo

製造販売元

第一三共株式会社

東京都中央区日本橋本町3-5-1

〈製品情報お問い合わせ先〉

第一三共株式会社 製品情報センター

TEL : 0120-189-132

〔受付時間 9 : 00 ~ 17 : 30 (土、日、祝日、当社休日を除く)〕

RF70S1201
2022年11月作成